

第9回丹南 ICLS が開催されました

ICLS は蘇生に関するシュミレーショントレーニングです。

「突然の心停止に関する最初の10分間の処置の習得」がコースの目的で、ひたすら、シュミレーション実習です。

BLS で幾度となく「絶え間ない胸骨圧迫」を呪文のように唱えても、インストラクターの方々が『天の声』をささやいてくれても、考えれば手が止まり、手を動かせば思考が止まります。しかし、この研修の最大の目的は集まった応援のメンバーと共にチームで蘇生を行うことにあります。胸骨圧迫の手が止まれば周囲の誰かが手を動かし、思考が止まれば、周囲の誰もが考える。常に声を掛け合い、10分間に蘇生を目指す。蘇生に向けての方向性を共通認識していると動きやすいですし、チーム力が発揮されます。

今回の研修で職員間のコミュニケーションも深まりました。研修中はアドレナリンもいっぱいでしたことでしょう。達成感のある研修でしたが、翌日には筋肉痛にも悩まされました。このような研修が当院で毎年計画的に開催されるのは恵まれています。開催に当たり、尽力された方々に感謝申し上げます。

看護師長 山本恵子

